



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 高千穂交易株式会社
 コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 秀雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 植松 昌澄
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3355-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,607	8.4	370	67.6	423	9.5	229	149.0
29年3月期第3四半期	13,481	9.1	221	43.2	386	181.9	92	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 538百万円 (255.5%) 29年3月期第3四半期 151百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	24.54	24.51
29年3月期第3四半期	9.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	18,568	14,152	76.2	1,514.13
29年3月期	18,561	13,834	74.5	1,480.61

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,143百万円 29年3月期 13,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		12.00		12.00	24.00
30年3月期		12.00			
30年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	10.3	1,000	99.8	1,000	42.8	650	132.4	69.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	10,171,800 株	29年3月期	10,171,800 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	830,990 株	29年3月期	833,957 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	9,338,412 株	29年3月期3Q	9,462,393 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや設備投資の増加傾向、雇用・所得環境の改善による個人消費の伸びなどを背景に緩やかな回復基調が続いております。

先行きについては、雇用・所得環境改善の傾向が続くなかで、各種経済対策の効果などにより、緩やかに回復していくことが期待されているものの、地政学的リスクや英国のEU離脱問題、米国の経済政策運営など、海外情勢について留意する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、新たな成長を見据え独自の付加価値強化による収益性の向上及びアジアを中心とした成長市場への進出によりグローバルビジネスの拡大を図っております。

具体的には、システムセグメントでは、主要商品である商品監視システムや入退室管理システムの付加価値強化、RFIDシステム、リテールソリューション、クラウド型無線LAN等の新たな市場開拓、またタイ及びASEAN諸国において展開する高度防火システム事業の拡大を図っております。

他方、デバイスセグメントでは、電子事業においては主に通信インフラ分野での拡販や各種半導体を使用した独自の基板設計などの付加価値強化、また産機事業では従来のATM向け機構部品に加え、北米、ASEAN諸国、中国への住宅設備向け機構部品の販売、国内外における自動車内装部品市場の開拓などに注力しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、デバイスセグメントが前年同期並みの水準にとどまった一方で、システムセグメントが伸張したことなどから、売上高は前年同期比8.4%増の146億7百万円となりました。

損益につきましては、販売費及び一般管理費が1億53百万円減少したことなどにより、営業利益は前年同期比67.6%増の3億70百万円となりました。経常利益は前年同期比9.5%増の4億23百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比149.0%増の2億29百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比13.8%増の90億18百万円、営業利益は、前年同期比397.3%増の3億38百万円となりました。

セキュリティ商品類では、商品監視システムの更新需要を捉え販売増加につなげたことや大手携帯キャリア向けディスプレイセキュリティシステム及び外資系企業向け入退室管理システムの販売が好調に推移したこと、タイにおける防火システムの販売が前年同期に比べ伸張したことなどから、売上高は前年同期比16.2%増の57億77百万円となりました。

その他ソリューション商品類は、クラウド型無線LANやRFIDタグの販売が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比10.4%増の11億90百万円となりました。

カスタム・サービス商品類は、セキュリティ商品類及びその他ソリューション商品類の販売増に伴い設置料収入や保守収入が増加したことなどから、売上高は前年同期比9.3%増の20億50百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比0.6%増の55億88百万円、営業利益は前年同期比82.2%減の28百万円となりました。

電子商品類では、遊技市場向けの販売が苦戦した一方で、スマートフォンや半導体製造装置向け電子部品の販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期比19.3%増の26億19百万円となりました。

産機商品類では、オフィス家具や住宅設備向けの販売が底堅く推移した一方で、ATMや遊技市場向けの販売が苦戦したことなどから、売上高は前年同期比11.6%減の29億68百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ7百万円増加し、185億68百万円となりました。これは有価証券が譲渡性預金の解約により5億円、受取手形及び売掛金が87百万円、のれんが84百万円減少した一方で、投資有価証券が4億63百万円、商品及び製品が2億89百万円増加したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ3億11百万円減少し、44億15百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が1億83百万円、未払法人税等が1億56百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ3億18百万円増加し、141億52百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が1億63百万円、為替換算調整勘定が1億43百万円増加したことなどによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から1.7ポイント上昇し、76.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,163	6,152
受取手形及び売掛金	5,989	5,901
有価証券	500	—
商品及び製品	2,330	2,620
原材料	80	101
その他	642	634
貸倒引当金	△7	△13
流動資産合計	15,699	15,396
固定資産		
有形固定資産	304	310
無形固定資産		
のれん	1,058	974
その他	88	72
無形固定資産合計	1,147	1,046
投資その他の資産		
投資有価証券	835	1,299
その他	574	515
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	1,409	1,813
固定資産合計	2,861	3,171
資産合計	18,561	18,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,749	2,566
未払法人税等	193	36
賞与引当金	245	149
役員賞与引当金	11	16
その他	834	927
流動負債合計	4,034	3,697
固定負債		
退職給付に係る負債	631	656
その他	60	61
固定負債合計	691	718
負債合計	4,726	4,415
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,170	1,170
利益剰余金	12,237	12,242
自己株式	△783	△780
株主資本合計	13,833	13,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219	382
為替換算調整勘定	△210	△66
退職給付に係る調整累計額	△16	△14
その他の包括利益累計額合計	△7	301
新株予約権	8	9
非支配株主持分	0	0
純資産合計	13,834	14,152
負債純資産合計	18,561	18,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,481	14,607
売上原価	9,977	11,107
売上総利益	3,503	3,499
販売費及び一般管理費	3,282	3,129
営業利益	221	370
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	14	14
為替差益	112	26
持分法による投資利益	0	2
債務勘定整理益	28	—
その他	10	10
営業外収益合計	168	55
営業外費用		
支払利息	1	1
支払手数料	2	1
その他	0	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	386	423
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
ゴルフ会員権売却益	—	1
新株予約権戻入益	11	—
特別利益合計	11	1
特別損失		
合併関連費用	16	—
減損損失	87	—
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	104	1
税金等調整前四半期純利益	293	423
法人税、住民税及び事業税	154	159
法人税等調整額	47	34
法人税等合計	201	194
四半期純利益	92	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	92	229

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	92	229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	163
為替換算調整勘定	△14	143
退職給付に係る調整額	4	2
その他の包括利益合計	59	309
四半期包括利益	151	538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151	538

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,926	5,555	13,481	—	13,481
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,926	5,555	13,481	—	13,481
セグメント利益	68	159	227	△6	221

(注) 1. セグメント利益の調整額△6百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「システム」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては87百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「システム」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては87百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	9,018	5,588	14,607	—	14,607
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,018	5,588	14,607	—	14,607
セグメント利益	338	28	367	3	370

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報
販売実績

(単位：百万円)

区分	前四半期 (平成29年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成30年3月期 第3四半期)
セキュリティ商品類	4,971	5,777
その他ソリューション商品類	1,078	1,190
カスタマ・サービス商品類	1,875	2,050
システム 計	7,926	9,018
電子商品類	2,195	2,619
産機商品類	3,359	2,968
デバイス 計	5,555	5,588
計	13,481	14,607